

コクチバス対策に関する研究発表を行いました

2月6日に群馬県農林水産業関係機関成果発表会（会場：群馬県庁）が開催され、指導環境室の酒井主任が「【近県連携】コクチバスによる被害状況とその抑制に向けて」と題して発表しました。

河川のコクチバスによるアユ被害軽減に向けた調査研究を行い、コクチバスによるアユの捕食被害の発生状況を明らかにし、被害軽減策の考え方を提案しました。

●主な成果

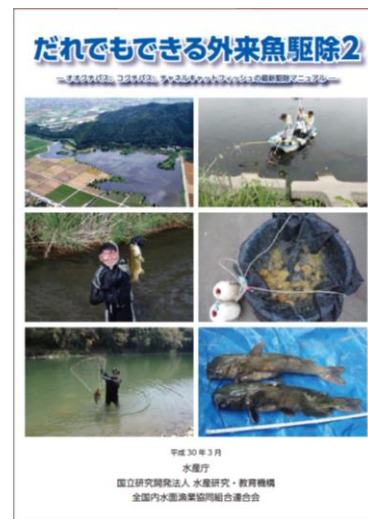
- ・コクチバスによるアユの捕食はアユ放流直後に集中して発生している
- ・大型のコクチバスがアユを捕食する傾向がみられる
- ・釣りによって大型のコクチバスを減らすことができる

※本研究は、水産庁事業「河川流域等外来魚抑制管理技術開発事業」（H27～29）の一環として実施され、その成果がマニュアル化されていますので、ご覧ください。

マニュアル URL : <http://www.jfa.maff.go.jp/j/enoki/attach/pdf/naisuimeninfo-12.pdf>



【発表する酒井主任】



【駆除マニュアル】